

国土形成計画(全国計画)のモニタリング(平成26年度)(概要)

◆5つの戦略的目標ごとの進捗度のモニタリング ◆5つの戦略的目標ごとの国民の実感のモニタリング ◆政策評価指標による施策の実行度のモニタリング

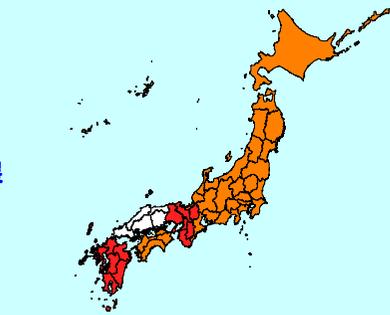
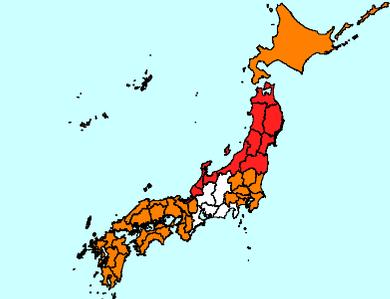
国土形成計画(全国計画)第1部で提示されている「新しい国土像」実現のための5つの戦略的目標の進捗を、それぞれのサブ目標ごとに一つずつ設定した代表指標(統計等)の動向を通じて把握

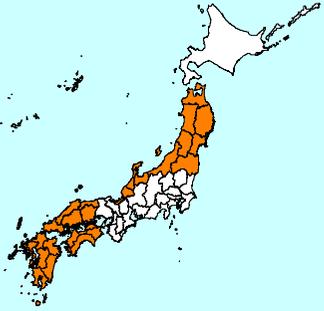
国民(一般国民、地方自治体、NPO、専門家、企業)を対象としたアンケート調査を実施し、5つの戦略的目標の実現について国民がどのように実感しているかを把握

各府省の政策評価指標を活用し、国土形成計画(全国計画)第2部の分野別施策の実行度(施策の進捗状況)を把握

◆5つの戦略的目標ごとの進捗度のモニタリング(基準=平成20年(2008年))

◆5つの戦略的目標ごとの国民の実感のモニタリング

<p>1 東アジアとの円滑な交流・連携</p> <p>(1)東アジアネットワーク型の産業構造下における我が国産業の強化 (2)東アジアの共通課題への取組、文化交流、人材育成 (3)円滑な交流・連携のための国土基盤の形成</p>	<p>【全国の進捗状況】 概ね進展が見られる</p> <p>【詳細】 (1)東アジアネットワーク型の産業構造下における我が国産業の強化(東アジア内での貿易総額に占める(各広域ブロックの)割合)は、全国で進展が見られない。 (2)東アジアの共通課題への取組、文化交流、人材育成(外国籍入国者に占める東アジア国籍入国者の割合)は、概ね全国で進展が見られる。 (3)円滑な交流・連携のための国土基盤の形成(「東アジア1日圏」人口割合)は、全国で進展が見られる。</p> <p>赤=進展が見られる 橙=概ね進展が見られる 白=進展していると見られない</p> 	<p>(1)東アジアネットワーク型の産業構造下における我が国産業の強化に関しては、専門家、企業では「東アジアとのビジネスが増えた」等の実感が高い。 (2)東アジアの共通課題への取組、文化交流、人材育成に関しては、専門家、企業では「街中でアジアの言語による案内を見かけることが多くなった」、企業では「東アジアへの短期の旅行・出張に行く機会が増えた」等の実感が高い。</p>
<p>2 持続可能な地域の形成</p> <p>(1)持続可能で暮らしやすい都市圏の形成 (2)地域資源を活かした産業の活性化 (3)美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開 (4)地域間の交流・連携と地域への人の誘致・移動の促進</p>	<p>【全国の進捗状況】 概ね進展が見られる</p> <p>【詳細】 (1)持続可能で暮らしやすい都市圏の形成(現在の住生活に対する満足度)は、ほぼ全国で進展が見られる。 (2)地域資源を活かした産業の活性化(地域資源活用事業数)は、ほぼ全国で進展が見られる。 (3)美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開(農林水産物の輸出額)は、多くの広域ブロックで進展が見られない。 (4)地域間の交流・連携と地域への人の誘致・移動の促進(ブロック内地域間時間距離)は、概ね全国で進展が見られる。</p> 	<p>(2)地域資源を活かした産業の活性化に関しては、地方自治体、NPOで「地域に就職する若者が増えた」等の実感が特に低い。 (3)美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開に関しては、一般国民、地方自治体、NPO、専門家、企業いずれにおいても、「農山漁村が暮らしやすくなった」等の実感が特に低い。</p>
<p>3 災害に強いしなやかな国土の形成</p> <p>(1)減災の観点も重視した災害対策の推進 (2)災害に強い国土構造への再構築</p>	<p>【全国の進捗状況】 概ね進展が見られる</p> <p>【詳細】 (1)減災の観点も重視した災害対策の推進(自主防災組織活動カバー率)は、全国で進展が見られる。 (2)災害に強い国土構造への再構築(災害被害額)は、多くの広域ブロックで進展が見られない。</p> 	<p>(1)減災の観点も重視した災害対策の推進に関しては、地方自治体、NPO、専門家、企業では、「災害を予防するための情報(ハザードマップなど)が多くなった」、「災害発生時に、被災状況や避難の情報を得やすくなった」等の実感が高い。 一方、(2)災害に強い国土構造への再構築に関しては、一般国民、地方自治体、NPO、専門家、企業いずれにおいても「密集した市街地が解消され、火災の被害などが拡大しにくくなった」等の実感が特に低い。</p>

<p>4 美しい国土の管理と継承</p> <p>(1)循環と共生を重視し適切に管理された国土の形成 (2)流域圏における国土利用と水循環系の管理 (3)海域の適正な利用と保全 (4)魅力あふれる国土の形成と国土の国民的経営</p>	<p>【全国の進捗状況】 概ね進展が見られる</p> <p>【詳細】 (1)循環と共生を重視し適切に管理された国土の形成(環境効率性)は、全国で進展が見られない。 (2)流域圏における国土利用と水循環系の管理(公共用水域における環境基準達成率)は、多くの広域ブロックで進展が見られる。 (3)海域の適正な利用と保全(沿岸域毎の水質基準達成率)は、概ね全国で進展が見られる。 (4)魅力あふれる国土の形成と国土の国民的経営(「国土の国民的経営」に向けた取組の参加率)は、全国で進展が見られない。</p> 	<p>(1)循環と共生を重視し適切に管理された国土の形成に関しては、地方自治体、NPO、専門家、企業では、「3R(リデュース(発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再生利用))に取り組むようになった」、「自然環境を保護する意識が高くなった」等の実感が高い。</p>
<p>5 「新たな公」を基軸とする地域づくり</p> <p>(1)「新たな公」を基軸とする地域づくりのシステム (2)多様な民間主体の発意・活動を重視した自助努力による地域づくり</p>	<p>【全国の進捗状況】 進展していると見られない</p> <p>【詳細】 (1)「新たな公」を基軸とする地域づくりのシステム(「新たな公」による地域づくり活動進展度(地方自治体))は、多くの広域ブロックで進展が見られない。 (2)多様な民間主体の発意・活動を重視した自助努力による地域づくり(「新たな公」による地域づくり活動参加率(一般国民))は、ほぼ全国で進展が見られない。</p> 	<p>(1)「新たな公」を基軸とする地域づくりのシステムに関しては、地方自治体、NPO、専門家で「主体的に地域づくりを行っている自治会、学校(PTA)、NPOなどが増えた」等の実感が高い。 (2)多様な民間主体の発意・活動を重視した自助努力による地域づくりに関しては、専門家、企業では「企業による地域貢献の活動が増えた」、地方自治体では「住民と行政が意見を交換する機会が増えた」等の実感が高い。</p>

◆政策評価指標による施策の実行度のモニタリング(基準=平成20年(2008年))

<p>進展が見られる</p>	<p>文化及び観光</p>	<p>「文化が育む豊かで活力ある地域社会」、「観光振興による地域の活性化」に関して進展が見られる。</p>
	<p>交通・情報通信体系</p>	<p>「総合的な国際交通・情報通信体系の構築」、「地域間の交流・連携を促進する国土幹線交通体系の構築」、「地域交通・情報通信体系の構築」に関して進展が見られる。</p>
	<p>防災</p>	<p>「総合的な災害対策の推進」、「様々な自然災害に的確に対応するための具体の施策」に関して進展が見られる。</p>
	<p>「新たな公」による地域づくりの実現</p>	<p>「「新たな公」の担い手確保とその活動環境整備」、「多様な主体による国土基盤のマネジメント」、「多様な民間主体の発意・活動を重視した自助努力による地域づくり」に関して進展が見られる。</p>
<p>概ね進展が見られる</p>	<p>地域の整備</p>	<p>「住生活の質の向上及び暮らしの安全・安心の確保」、「暮らしやすく活力ある都市圏の形成」、「地域間の交流・連携と地域への人の誘致・移動の促進」、「地理的、自然的、社会的条件の厳しい地域への対応」に関して進展が見られ、「美しく暮らしやすい農山漁村の形成」に関して概ね進展が見られる。</p>
	<p>産業</p>	<p>「イノベーションを支える科学技術の充実」、「食料等の安定供給と農林水産業の展開」に関して進展が見られ、「地域を支える活力ある産業・雇用の創出」に関して概ね進展が見られる。</p>
	<p>環境保全及び景観形成</p>	<p>「健全な生態系の維持・形成」、「良好な景観等の保全・形成」に関して進展が見られ、「人間活動と自然のプロセスが調和した物質循環の構築」に関して概ね進展が見られる。</p>
	<p>国土資源及び海域の利用と保全</p>	<p>「流域圏に着目した国土管理」、「次世代に引き継ぐ美しい森林」、「農用地等の利用の増進」、「海域の利用と保全」、「国土の国民的経営」に向けた施策展開に関して進展が見られ、「安全・安心な水資源確保と利用」に関して概ね進展が見られる。</p>

➡ **「5つの戦略的目標ごとの進捗度」、「5つの戦略的目標ごとの国民の実感」、「政策評価指標による施策の実行度」いずれのモニタリングを通じても、「新しい国土像」の形成に向けて概ね進展が見られる。**